TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵 倒れないように気をつけなさい
コリントの信徒への手紙一 10 章 1−13 節

2025 年 5 月 17 日 & 18 日
余沢 武 牧師

I はじめに

こんにちは。来週は毎年恒例のファミリーギャザリングがあります。その時に予算の承認をします。TBC の教会員で、当日に出席できない場合は、「不在者投票用紙」を出してください。名前を記入し、チェックを入れて、後ほど献金かごに入れてください。

コリントの信徒への手紙一では、パウロがコリントの教会に対し、偶像にささげられた肉を食べる権利を放棄するように教えたことを学びました。信仰の弱い兄弟姉妹たちが真似てしまい、その結果、偶像礼拝に陥ってしまわないためです。

パウロは、私たちが自分の権利を手放し、神を愛し他人を愛することに集中するとき、他の人の成長を助けるだけでなく、私たち自身も最大の報いを受ける、と言います。私たちはイエス・キリストの似姿に変えられていくでしょう。 今日は、旧約聖書がこのことについてどのように私たちの助けになるか見ていきましょう。 それでは、祈りましょう。

II. 倒れないように気をつけなさい

(1)私たちの先祖たち

コリントの信徒への手紙一 10 章 1 節−4 節です。
「1:きょうだいたち、次のことはぜひ知っておいてほしい。私たちの先祖は皆、雲の下におり、皆、海を通り抜け、2:皆、雲の中、海の中で、モーセにあずかる洗礼(バプテスマ)を受け、3:皆、同じ霊の食物を食べ、4:皆、同じ霊の飲み物を飲みました。彼らが飲んだのは、自分たちに付いて来た霊の岩からでしたが、この岩こそキリストだったのです。」

何年か前に、数名の方と一緒にミッション調査旅行のためにミャンマーに行きました。そこに 3 日間滞在しました。日本よりも部屋が広いとても素敵なホテルに滞在しました。洋食、中華、日本食がある素晴らしい朝食ビュッフェ付きでした。 その上、値段が信じられないほど安かったのです。 当時、私はどこかに出かけたときは、必ず家に電話をかけるのが習慣でした。まだスマートフォンや Wi-Fi がなかった時代の話です。ですから、ホテルの部屋にある電話を使って、家族と 30 分か 40 分くらい話をしました。
驚いたことに、チェックアウトの時、電話代が宿泊費よりずっと高かったことを知りました。その時以来、私は二度とホテルの電話から国際電話をかけたことはありません。私たちは自分や他人の過去の失敗から学びます。

パウロはこう言っています。 私たちは神の民、古代イスラエル人の霊的な子孫であり、そして私たちはこの「先祖たち」から学ぶべきであると。

古代イスラエルの民が、神によってエジプトでの奴隷状態から解放されたように、私たちも神によって罪の奴隷状態から解放されました。彼らが雲の中や紅海の中でモーセにあずかる洗礼(バプテスマ)を受けたように、私たちもイエスにあずかる洗礼(バプテスマ)を受けました。
彼らが神からマナというパンを受け取り、またキリストと言う「岩」を通して水を与えられたように、私たちも聖餐式によりイエスを通して、神からのパンと飲み物を受け取っています。
神が古代イスラエルの民を約束の地へ導くことを選ばれたように、神は私たちを真の約束の地、天にある神の永遠の王国へと導くことを選ばれたのです。

では、イスラエルの民に何が起きたのでしょうか？
コリントの信徒への手紙一 10 章 5 節
「5:しかし、彼らの大部分は神の御心に適わず、荒れ野で滅ぼされてしまいました。6:これらのことは、私たちに対する警告として起こりました。彼らが悪を貪ったように、私たちが悪を貪る者とならないためです。」

古代イスラエルの民は神によって選ばれたにも関わらず、私たちと同様に「彼らの大部分」は、「悪」を貪ったために失敗してしまいました。これが、私たちが学ばなければならない警告です。

(2)警告

パウロは私たちが避けるべき、彼らが貪った「悪」を挙げています。
7節 「7: ですから、彼らの中のある者がしたように、偶像を礼拝してはいけません。「民は、座っては食べて飲み、立っては戯れた」と書いてあるとおりです。」

最初に避けるべき悪は、「偶像礼拝」です。出エジプト記 32 章では、神がモーセに十戒の、第一の戒め「私は主、あなたの神、…あなたには、私をおいてほかに神々があってはならない。」(出エジプト記 20:2–3)を与えられている時、人々は金の子牛を造っていました。 そして彼らは食べながらそれを拝み、一緒になって飲んだり、騒いだりしていました。 そして、何千人もの人々が死にました。

コリントでは、偶像礼拝は異教の神殿で偶像にささげられた肉を食べることによって行われていました。そしてコリントの人々も、それに参加したいと思っていました。パウロは言います。「古代イスラエルの民から学びなさい。」

日本での偶像礼拝は、寺や神社、家庭の神棚や仏壇へ、線香を焚いたり、お参りしたりすることによって行われています。パウロは言います。「イスラエルの民から学びなさい。」

この世の中では、偶像礼拝はしばしば、自分の欲を満たして生きるため、金銭に頼り、または人に受け入れられるために、行われます。 パウロは言います。「古代イスラエルの民から学びなさい。」

2番目の悪について続きます。
8 節 「8:彼らの中のある者がしたように、淫らな行いをしないようにしましょう。淫らな行いに及んだために、一日で二万三千人が死にました。」
2 つ目の避けるべき悪は「性的不道徳」です。 民数記 25 章では、古代イスラエルの民が異教の女性たちに惹かれ、彼女たちと共に寝て淫らな行いをしてしまうようになりました。
一緒に彼女達の偶像を拝むようにすらなってしまいました。そして多くの者が命を落としました。パウロはこの事から学ぶようにと言っています。

3 つ目の悪:**9 節 「9:また、彼らの中のある者たちがしたように、キリストを試みないようにしましょう。試みた者は、蛇に滅ぼされました。」**
3つ目の悪は、「キリストを試す」ことです。民数記 21 章で、古代イスラエルの民は神のご計画と備え“マナ”に不平を抱くことでキリストを試みました。彼らは、神を信頼し日々に満足することが出来なかったのです。

コリントのクリスチャンたちも同じように、「肉を神殿で食べない」という神の計画と備えに不満を持っていました。それは、彼らの友人関係や、自分の評判、ビジネスの機会に影響するからでした。 彼は、ただ神を信頼できなかったのです。パウロは言います。「古代イスラエルの民から学びなさい。」

4 つ目の悪:**10 節 「10:また、彼らの中のある者がしたように、不平を言ってはいけません。不平を言った者は、滅ぼす者に滅ぼされました。」**
4 つ目の避けるべき悪は、「不平を言う」です。民数記 16 章では、コラとその仲間たちがモーセとアロンに不平を言い、反抗しました。彼らは神の民を覆う統治者としての神の御手が見えず、多くの者が命を失いました。

コリントでも、神殿で肉を食べたいと願っていた人たちは、パウロに対して不平を言いました。彼らは神の民を覆う統治者としての神の御手が見えなかったのです。パウロは言います。「古代イスラエルの民から学びなさい。」

11-12 節 「11:これらのことが彼らに起こったのは、警告のためであり、それが書かれたのは、世の終わりに臨んでいる私たちを戒めるためなのです。12:だから、立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。」

旧約聖書の物語は私達のお手本です。その理由は、私たちが「偶像を拝み」、「性的な罪を犯し」、「神のご計画と備えに不満を持ち」、「不平を言う」と言う誘惑に直面することを、神はご存知だったからです。
パウロは、「立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。」と言っています。

多くのコリントの人たちは、「異教の神々」を信じてもいないのに、偶像礼拝の「罪に問われる」とは驚きでした。 しかし、彼らには見えていませんでした。彼らの偶像は「異教の神々」ではなく、「人々」に嫌われることへの恐れ、「仕事」や「お金」を失うことへの恐れ、だったのです。

私たちも同じです。私たちの中の誰かが偶像礼拝の罪を犯すことがありうる、ということに驚くかもしれません。私たちは「異教の神々」も、「死者の霊」ですら信じていないのに。

創世記 30 章には、ヤコブの妻ラケルの物語があります。ラケルとその姉レアの2人はヤコブの妻でしたが、ラケルは身ごもることができませんでした。ある日、ラケルはヤコブにこう言います。「私に子どもをください。さもないと、私は死にます！」

ラケルには偶像--「息子を持つ」― があったのです。彼女は、自分の人生への神のご計画や備えをただ受け入れることができませんでした。神を信頼するだけでは足りないと信じていたのです。彼女には幸せになるためには「息子を持つ」ことが必要でした。だから、神が与えてくださらないなら、自分の力でどうにかしようとしたのです。

後に、彼らが父であるラバンのもとを去るとき、ラケルが何をしたか覚えていますか？ 彼女は彼の家の偶像を盗みました。なぜそんなことをしたのか、不思議に思ったことはありませんか？ 彼女はそれらに祈っていたのです。彼女の本当の神は「息子を持つこと」だったからです。息子を持つためなら、どんなものでも拝もうとするほどでした。

コリント人たちが「私は神殿で肉を食べなければならない」と言った時、それは彼らの心の中に偶像があることを示しています。それは異教の神や肉ではないかもしれません。しかし、偶像は存在します。そしてその偶像が、彼らの感情、行動、神への従順度合い、そして人生を支配しているのです。

私たちが、「私は偶像や亡くなった方に祈らなければならない」、「この学校に入らなければならない」「あの会社に入らなければならない」「結婚しなければならない」「尊敬か何かされなければならない」――このように言うとき、それは私たちが偶像をもっていることを示しています。それは実際には「亡くなった方の霊」でも、「学校」や「会社」、「結婚」ではないかもしれません。

それは「人」かもしれませんし、「プライド」や「お金」かもしれません。何であれ、それは神ではなく、私たちの感情、行動、神への従順度合い、そして人生そのものを支配しているのです。そして私たちは、それに気づいていないかもしれません。パウロはこう言います。「立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。」

(3)すべての誘惑は人間に共通している

13節 「13:あなたがたを襲った試練で、世の常でないものはありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えてくださいます。」

スポーツチームでは、通常、一番厳しいトレーニングは夏の夏合宿の時期に行われます。自分が苦しむことは分かっています。でも同時に、そのプログラム全体は私たちを壊すためではなく、私たちを鍛え、より良くするために作られているということも分かっています。

これは、クリスチャンにとっての誘惑と同じです。神はこれらを用いて、私たちを成長させようとされるのです。

ステップ1

神は、人間に共通する誘惑を私たちの前におかれます。「偶像礼拝」、「性的な不品行」、「イエスを試すこと」、そして「不平不満」などです。これらの誘惑は、私たちの神に対する信頼と満足の欠如、そして私たちの心に潜む偶像、…「欲望」、「人」、「お金」などをあらわにします。

ステップ2

神は、脱出の道を備えてくださいます。私たちが謙虚に助けを求め、聖霊の助けと祈りによって、日々神の恵みを実践しようとするとき、神は「神は良いお方であること」、「神には私たちのためのご計画があること」、「すべてを完全に支配しておられること」を思い出させてくださいます。そして、私たちは「ただ神に従う」ことが出来るのです。

ステップ3

私たちはそれに耐えることができ、誘惑は終わります。私たちはすべての偶像から距離を取ることを学び、純潔を愛し、神のご計画と備えに「信頼し満足」するようになります。すべての出来事の背後にある「神の統治者としての御手」を認めるようになります。長い間私たちを支配していた偶像の奴隷状態から解放されるでしょう。

おそらく、あなたは神の計画と備えを完全に信頼できないかもしれません。神以外に、幸せになるために必要だと思う「何か」があるのかもしれません。つまり、あなたの行動、不平、不満、満足、そして人生を支配している「偶像」があるのかもしれません。古代イスラエルの人々の例から学び、それを神に委ねましょう。

「偶像礼拝」、「欲望」、「不信」、「不満」、「不平」、「不安」、または「人々を恐れる」などのあなたの罪をイエスに告白しましょう。イエスに「赦し」を求め、神に対する完全な信頼と満足に「置き換えて」いただくようお願いしましょう。そうすれば、あなたは神を愛し、他者を愛することに焦点を当てることが出来るようになるでしょう。無条件に、今からそして永遠に。

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2125jp

奉仕者募集中！

急募！

日本語訳レイアウト&印刷（女性３名募集）

英語のスキルは必要ありません。
・月１回～、土曜日16時にTBCにて作業します。
・MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org

★クラス 201
クリスチャンとして成長する
6月7日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了した教会員

★クラス 401
クリスチャンとして成長する
6月15日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 301 を修了した教会員

★クラス 402
キリストの伝え方
6月29日(日)1:00pm – 4:00pm
場所: カンファレンスルーム
参加条件: クラス 101 を修了した教会員

全クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu